

安全データシート

1. 製品及び会社情報

- ・製品名 : GLUCORODER-GX 専用試薬 グルコースバッファー
- ・製品コード : 221173
- ・供給者の会社名称 : 株式会社エイアンドティー
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0466-86-8660
- ・問い合わせ先 : 株式会社エイアンドティー カスタマーサポートセンター
〒252-0816 神奈川県藤沢市遠藤 2023 番地 1
電話番号 0120-487-030
- ・推奨用途 : **グルコース分析装置で使用する緩衝液**
- ・使用上の制限 : 所定用途以外に使用しないこと

2. 危険有害性の要約

- GHSラベル要素
- 絵表示又はシンボル : 該当なし
 - 注意喚起語 : 該当なし
 - 危険有害性情報 : 該当なし
 - 注意書き : **【安全対策】** : 該当なし
【応急措置】 : 該当なし
【廃棄】 : 該当なし
 - 国/地域情報 : 情報なし

3. 組成及び成分情報

- ・化学物質・混合物の区別 : 混合物
- ・製品名 : GLUCORODER-GX 専用試薬 グルコースバッファー
- ・別名 : GR-GX 専用試薬グルコースバッファー 2L
- ・内容物 : 2 L × 1 本
- ・成分及び含有量
 - アジ化ナトリウム : 0.1 w/w% 未満
 - ・化学物質を特定できる一般的な番号 : CAS 番号 26628-22-8
 - ・官報公示整理番号 : 化審法化学物質 1-482
 - アルコール系防腐剤 : 0.5 w/w% 未満
 - 非イオン性界面活性剤 : 0.1 w/w% 未満

4. 応急措置

- ・吸入した場合 : 呼吸に関する症状が出た場合には、医師に連絡すること。
- ・皮膚に付着した場合 : 多量の水と石鹸で洗うこと。
皮膚刺激が生じた場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・眼に入った場合 : 水で数分間注意深く洗うこと。
コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。
眼の刺激が続く場合は、医師の診断/手当てを受けること。
- ・飲み込んだ場合 : 気分が悪いときは、医師に連絡すること。
- ・予想される急性症状及び遅発性症状
 - 急性症状 : データなし
 - 遅発性症状 : データなし
- ・最も重要な兆候及び症状 : データなし

5. 火災時の措置

- ・適切な消火剤 : 粉末消火薬剤、水噴霧、泡消火薬剤、二酸化炭素
- ・使ってはならない消火剤 : データなし
- ・火災時の特有の危険有害性 : データなし
- ・特有の消火方法 : データなし
- ・消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置 : 空気呼吸器など適切な保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置
: 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 環境に対する注意事項
: 河川等に排出されないように注意する。
- 回収、中和
: 漏洩した製品を布切れに吸収させて、密閉できる容器に回収する。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材
: 危険でなければ漏れを止める。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取 扱 い
技術的対策
: 作業者は適切な保護具（8. ばく露防止及び保護措置の項を参照）を着用し、眼、皮膚への接触やガスの吸入を避ける。
- 安全取扱注意事項
: この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
吸入又は飲み込まないこと。
取扱い後は、手を洗うこと。
- 接触回避
衛生対策
: (10. 安定性及び反応性の項を参照)
: 取扱い後はよく手を洗うこと。
- 保 管
安全な保管条件
: ボトルを密栓して、5-35°Cで保存する。
- 安全な容器包装材料
: 包装、容器の規制はないが、密閉式の破損しないものに入れる。

8. ばく露防止及び保護措置

- 許容濃度等
: データなし
- 設 備 対 策
: 特別な換気要求事項はない。
- 保 護 具
呼吸用保護具
: 換気が十分でない場合には、有機ガス用防毒マスクを着用すること。
- 手の保護具
: 不透性保護手袋を着用すること。
- 眼、顔面の保護具
: 側板付保護眼鏡、必要によりゴーグル型保護眼鏡を着用すること。
- 皮膚及び身体の保護具
: 長袖保護衣を着用すること。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態
: 液体
- 色
: 無色透明
- 臭い
: データなし
- 融点/凝固点
: データなし
- 沸点又は初留点及び沸点範囲
: データなし
- 可燃性
: データなし
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
: データなし
- 引火点
: データなし
- 自然発火点
: データなし
- 分解温度
: データなし
- p H
: 6-8
- 動粘性率
: データなし
- 溶解度
: 水と自由に混和する
- n-オクタノール/水分係数(log 値)
: データなし
- 蒸気圧
: データなし
- 密度及び/又は相対密度
: データなし
- 相対ガス密度
: データなし
- 粒子特性
: データなし

10. 安定性及び反応性

- 反 応 性
: データなし
- 化学的安定性
: データなし
- 危険有害反応可能性
: データなし
- 避けるべき条件
: データなし
- 混触危険物質
: データなし
- 危険有害な分解生成物
: データなし

11. 有害性情報

- 急 性 毒 性
急性毒性（経口）
: 以下の区分の急性毒性（経口）の物質を含む。
区分2；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
これより、混合物の急性毒性（経皮）推定値ATE_{mix} > 10,000mg/kg が算出される。
(JIS分類による)
- 急性毒性（経皮）
: 混合物として急性毒性（経口）区分に該当しない。
: 以下の区分の急性毒性（経皮）の物質を含む。
区分1；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
これより、混合物の急性毒性（経皮）推定値ATE_{mix} > 10,000mg/kg が算出される。
(JIS分類による)
- 混合物として急性毒性（経皮）区分に該当しない。
- 皮膚腐食性/刺激性
: 以下の区分の皮膚刺激性の物質を含む。
区分1；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）

- 区分2；アルコール系防腐剤（0.5 w/w%未満）
混合物として皮膚腐食性／刺激性区分に該当しない。
- ・眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性：以下の区分の眼に対する重篤な損傷性／眼刺激性の物質を含む。
区分1；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
区分2A；アルコール系防腐剤（0.5 w/w%未満）、非イオン性界面活性剤（0.1 w/w%未満）
混合物として眼に対する重篤な損傷性／刺激性は区分に該当しない。
 - ・呼吸器感作性又は皮膚感作性
呼吸器感作性：分類できない。
皮膚感作性：分類できない。
 - ・生殖細胞変異原性：分類できない。
 - ・発がん性：分類できない。
 - ・生殖毒性：分類できない。
 - ・特定標的臓器毒性（単回ばく露）：以下の区分の特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）の物質を含む。
区分1（心血管系、肺、中枢神経系、全身毒性）；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
混合物として特定標的臓器・全身毒性（単回ばく露）は区分に該当しない。
 - ・特定標的臓器毒性（反復ばく露）：以下の区分の特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）の物質を含む。
区分1（中枢神経系、心血管系）；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
区分2（肺）；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）
混合物として特定標的臓器・全身毒性（反復ばく露）は区分に該当しない。
 - ・誤えん有害性：分類できない。

1.2. 環境影響情報

- ・生態毒性：当該物質の主な水生環境有害性（急性）成分
急性区分1；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）0.1として計算
急性区分2；非イオン性界面活性剤（0.1 w/w%未満）0.1として計算
急性区分3；アルコール系防腐剤（0.5 w/w%未満）0.5として計算 M：毒性乗率
急性3（ $M \times 100 \times \text{急性}1$ ） + $(10 \times \text{急性}2)$ + 急性3
= $(1 \times 100 \times 0.1) + (10 \times 0.1) + 0.5 = 11.5\% < 25\%$
→急性3には区分されない。
混合物は、水生環境有害性区分に該当しない（JIS分類による）。
当該物質の主な水生環境有害性（慢性）成分
慢性区分1；アジ化ナトリウム（0.1 w/w%未満）0.1として計算
慢性区分2；非イオン性界面活性剤（0.1 w/w%未満）0.1として計算
慢性区分3；アルコール系防腐剤（0.5 w/w%未満）0.5として計算 M：毒性乗率
慢性3（ $M \times 100 \times \text{慢性}1$ ） + $(10 \times \text{慢性}2)$ + 慢性3
= $(1 \times 100 \times 0.1) + (10 \times 0.1) + 0.5 = 11.5\% < 25\%$
→慢性3には区分されない。
混合物は、水生環境有害性区分に該当しない（JIS分類による）。
- ・残留性・分解性：データなし
- ・生体蓄積性：データなし
- ・土壌中への移動性：データなし
- ・オゾン層への有害性：分類できない。

1.3. 廃棄上の注意

- ・残余廃棄物：廃棄物の処理にあたっては、該当する法規、条例、規定等に従って適切に処理すること。
- ・化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報：関連法規ならびに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。

1.4. 輸送上の注意

- ・特別の安全対策：運搬に際しては内容物の漏れがないことを確かめ、転倒、落下、損傷が生じないように積み込み、荷崩れの防止を確実にを行う。
- ・国内規制がある場合の規制情報：非該当

1.5. 適用法令

- ・該当法令の名称及びその法令に基づく規制に関する情報
毒物及び劇物取締法：非該当
医薬品医療機器等法：非該当
労働安全衛生法：非該当
化学物質排出把握管理促進法：非該当

1.6. その他の情報

引用文献

- 1) 14906 の化学商品 化学工業日報社（2006）
- 2) 国際化学物質安全性カード(ICSC) 日本語版 化学工業日報社

- 3) DFGOT vol. 20 (2003)
- 4) ACGIH (2001)
- 5) RTECS (2004)
- 6) NTPTR389(1991)
- 7) AQUIRE, 2010
- 8) 既存点検, 2000

記載内容は、現時点で入手できた資料、情報、データ等に基づいて作成していますので、新しい知見によって改訂されることがあります。
記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした情報提供であり、必ずしも安全性を保証するものではありません。